

OISA NEWS

OITA
INFORMATION
SERVICE INDUSTRY
ASSOCIATION

2017. 8
71

発行：大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文
<http://www.oisa.jp>
編集：広報委員会
事務局：大分市城崎町2-6-31
(大銀コンピュータサービス(株)内)
TEL (097) 537-5918
FAX (097) 534-4545
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会



CONTENTS

平成29年度 通常総会開催	2
新役員紹介・代表者交代・新任者紹介	3
平成29年度 協会活動方針	4
平成29年度 通常総会記念講演会	5
平成28年度 新年例会	6
第25回 サウンズコンテスト	7
社会貢献活動(別府大分毎日マラソン)	8
平成28年度 第2回OISA視察研修旅行	8

高崎山(大分市) 別府公園上空よりドローンで撮影

大分県情報サービス産業協会 平成29年度通常総会開催

総会議事

- 第1号議案 平成28年度協会活動報告および委員会事業報告
ならびに平成28年度収支決算承認の件
会計監査報告
- 第2号議案 平成29年度協会活動方針
ならびに委員会事業計画決定の件
- 第3号議案 平成29年度収支予算承認の件
- 第4号議案 役員改選の件
- 第5号議案 その他の件



森 秀文会長 挨拶

大分県情報サービス産業協会平成29年度通常総会が、平成29年4月19日(水)全労済ソレイユにて開催されました。森会長が議長となり総会議事が執り行われ、標記第1号議案から第5号議案まで原案通りに承認されました。

引き続き、国立大学法人大分大学理工学部教授西野浩明様にご挨拶をいただき、その後、大分県商工労働部長神崎忠彦様より「最近の経済動向と大分県の産業政策」についてご講演を行っていただきました。

総会終了後は来賓の方々を交えて交流会が行われました。



西野 浩明様 挨拶

平成28年度決算および平成29年度収支予算 収入の部

(単位：円)

科目	29年度予算額	28年度決算額	差額
入会金	0	0	0
会費	2,275,000	2,475,000	▲ 200,000
総会費	44,000	44,000	0
事業収入	1,412,000	1,321,000	91,000
JISA交付金	300,000	300,000	0
事業外収入	200	195	5
前年度繰越金	2,166,189	2,244,218	▲ 78,029
収入合計	6,197,389	6,384,413	▲ 187,024

平成28年度決算および平成29年度収支予算 支出の部

(単位：円)

科目	29年度予算額	28年度決算額	差額
管理費	575,000	504,878	70,122
総会費	209,000	207,022	1,978
事業費	3,937,000	3,506,324	430,676
予備費	0	0	0
特別予算	0	0	0
次期繰越金	1,476,389	2,166,189	▲ 689,800
支出合計	6,197,389	6,384,413	▲ 187,024

平成29年度大分県情報サービス産業協会役員

平成29年5月22日現在

OISA役職	氏名	会員名・役職
会長	森 秀文	(株)オーイーシー 代表取締役会長
副会長	小田 均	(株)富士通九州システムズ 執行役員
理事	於保 宏明	九州東芝エンジニアリング(株) 取締役社長
理事	荒城 英世	大分交通(株) 監査役
理事	小野 敬一	ゴードービジネスマシン(株) 代表取締役社長
理事	前田 修二	(株)シーエイシー 代表取締役社長
理事	尾渡 秀成	大銀コンピュータサービス(株) 代表取締役社長
監事	田崎 方人	鶴崎海陸運輸(株) 取締役
監事	山口 登	モバイルクリエイイト(株) 取締役(常勤監査等委員)
事務局長	眞名井龍一	(株)オーイーシー 常勤監査役

新任役員紹介挨拶

新理事 前田 修二



【所属・役職】

株式会社シーエイシー
代表取締役社長

【略歴】

1957年 大分県生まれ
1987年 現在の新日鉄住金ソリューションズ(株)に入社
2015年 (株)シーエイシーに入社
2017年 現職

【趣味】 映画鑑賞、ウォーキング

【ご挨拶】

このたび、理事を拝命いたしました。協会のため、地元である大分のために貢献できるよう、微力ながら尽力する所存です。どうぞよろしく願います。

新監事 田崎 方人



【所属・役職】

鶴崎海陸運輸株式会社
取締役 システム事業部本部長

【略歴】

1958年 大分県生まれ
1981年 鶴崎海陸運輸(株)入社
2014年 現職
2016年 エステイケイテクノロジー(株)社長兼務

【趣味】 サッカー観戦、城めぐり

【ご挨拶】

このたび、監事を拝命いたしました。長年、協会にはお世話になっております。協会の発展に寄与できるよう、尽力する所存です。よろしく願います。

新任顧問紹介挨拶

新顧問 西野 浩明



【所属・役職】

大分大学理工学部・教授

【略歴】

1960年 静岡県生まれ
1985年 NEC入社 (OS開発、米国駐在)
1995年 大分大学着任
2011年 大分大学教授 (現在に至る)

【趣味】 旅行、ジョギング

【ご挨拶】

専門は情報工学で、バーチャルリアリティに関する研究活動に従事しています。教育面では、ICTの活用やアクティブ・ラーニングの導入による教育改善に取り組んでいます。

微力ながら、産官学連携推進のお役に立てるように努める所存です。よろしく願います。

代表者交代のお知らせ

(株)アトムス

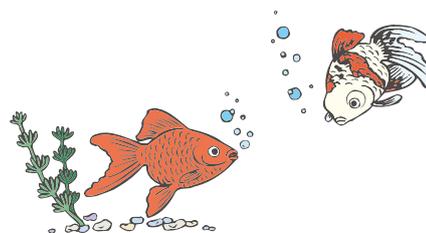
代表取締役社長 安部 慎次

三井造船システム技研(株)

大分事業部所長 柴田 健司

エステイケイテクノロジー(株)

代表取締役社長 田崎 方人



新任者紹介

〔総務委員会〕

モバイルクリエイト(株)

技術部部長

後藤 哲博

〔広報委員会〕

大銀コンピュータサービス(株)

経営管理部長

秋吉 英矢

〔研修委員会〕

鶴崎海陸運輸(株)

川嶋 進司



平成29年度

協会活動方針

1. 関係機関および関連団体との交流と連携を深め、地域の情報化を推進するとともに、協会及び協会活動の一層の周知を図る。
2. 委員会活動の充実を図り、第4次産業革命に対応する魅力ある事業を推進する。
3. 会員企業の技術力の向上を図るとともに、会員相互の情報交換と啓発活動を推進する。

総務委員会

委員長 渡辺 崇敏 (朝日キャリアバンク(株) 統括マネージャー)
副委員長 永岡 禎幸 (九州日立システムズ 大分営業所 所長)
事務局 坂田 明 (九州東芝エンジニアリング(株) 参与)

1. 事業方針
(1)協会の事業力強化と活性化を図るための諸施策を推進する。
(2)会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。
(3)社会貢献のための活動を推進する。
2. 事業計画
(1)次の協会定例行事を企画・開催する。
4月 通常総会後の講演会・懇親会
1月 新年例会、講演会
2月 社会貢献活動推進
(2)行政、情報産業団体との交流。
(3)社会貢献活動の推進。

企画委員会

委員長 佐藤 隆己 (APC 代表取締役)
副委員長 渡辺 五朗 (大交ソリューションズ(株) 部長)
事務局 山松 正樹 (大分交通(株) 次長)

1. 事業方針
委員会活動の充実と強化及び、会員相互の理解と協力をより一層深める事を目的とした諸施策を展開する。
2. 事業計画
第4次産業革命に対する見分を広げる為に先進地域ならびに先進企業への視察研修を実行する。
・ 8月下旬～9月上旬 県外対象 (1泊2日)
・ 1月下旬～2月上旬 県内対象 (日帰り)

技術委員会

委員長 田中 栄二 (大分ケーブルテレコム(株) 副本部長)
副委員長 谷口 泰生 (オーガス 課長)
副委員長 組橋 誠 (三井造船システム技研(株)大分事務所 課長)
事務局 伊達 慎二 (富士通九州システムズ 部長)
事務局 吉良香奈子 (富士通九州システムズ)

1. 事業方針
下記に関する活動を企画・実施し、情報社会への貢献を目指す。
(1)新技術動向に関する知識の普及。
(2)ICTに関する技術の向上。
2. 事業計画
(1)交流会の開催
業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招き、技術交流会を開催する。
(2)技術研究会の開催
会員が抱える共通の技術課題について技術研究会を開催する。内容は、最新ICT動向を十分意識し、これらの情報技術や開発方法等について研究し、成果発表会を行う。

イベント委員会

委員長 野尻 健 (大分中央電算(株) 代表取締役社長)
副委員長 中川 雅裕 (スリーエイ・システム 取締役)
事務局 大熊 洋司 (ゴードービジネスマシン(株) 部長)

1. 事業方針
(1)委員会活動を通じて当協会の存在を広く世間にアピールする。
(2)会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。
2. 事業計画
(1)第26回サウンズコンテストの開催
従来の「純コンピュータ・ミュージック」を基本に、新しいコンピュータ・ミュージックのコンテストを検討していく。ITを利用して応募集客に工夫し、後援各社の報道により応募・集客を図る。又、大分フットボールクラブとの連携を深め夢のあるイベントとし、地域社会に貢献する。
(2)第23回OISAボウリング大会の開催

研修委員会

委員長 大園 拓 (ソフトリンク(株)大分営業所 取締役SI事業部長)
副委員長 川嶋 進司 (鶴崎海陸運輸(株))
事務局 鶴田由佳利 (シーエイシー)

1. 事業方針
(1)研修事業は協会会員企業の要望、必要性を十分に反映して行う。
(2)開かれた協会活動に寄与する委員会活動を推進する。
(3)他委員会との合議を積極的に進め、行政との連携も視野に委員会活動の活性化を図る。
2. 事業計画
(1)計画の具体化には会員企業の意見を反映し、ニーズの高い研修内容を企画する。
(2)企業の技術者向けに、専門技術あるいは先端技術に関する講座等を企画する。
(3)十分な協力体制をもとに、地域に開かれた研修活動を企画する。
(4)他、会員の要望に応じた事業を企画する。

広報委員会

委員長 河野 修一 (アトムス 取締役部長)
副委員長 堺井 常行 (学KCS大分情報専門学校 校長)
事務局 秋吉 英矢 (大銀コンピュータサービス(株) 部長)

1. 事業方針
協会活動の内外への広報事業を展開し、当協会全体の活性化を図る。
2. 事業計画
(1)広報活動
OISAニュースの発行
年間2回、協会活動及び業界イメージアップに繋がる情報発信を行う。
・ 7月 総会特集・各委員会の事業計画
・ 1月 各委員会活動特集
OISAニュースの継続発行、紙面の充実を図るとともに、行政機関及び学校へOISAニュースを配布する。OISAニュースを利用して会員企業や社員紹介を行い業界イメージアップに協力する。
(2)ホームページの利活用
広報委員会で協会情報やOISAニュース掲載の情報更新を行う。各委員会開催行事の広報や開催結果をタイムリーにホームページに掲載し協会活動の推進に寄与する。

平成29年度 通常総会記念講演会

演題「最近の経済動向と大分県の産業政策」

講師：大分県商工労働部長
神崎 忠彦 様

日時：平成29年4月19日(水)

場所：全労済ソレイユ 7階 アイリスの間

平成29年度通常総会におきまして、大分県商工労働部長の神崎忠彦様に、「最近の経済動向と大分県の産業政策～大分県版第4次産業革命〚OITA4.0、を中心～」という演題でご講演いただきました。ご講演の内容は、以下の通りです。



①最近の経済動向

- ・国際市場・国内市場の動向
- ・国内経済の動向
- ・県内の経済動向

②おおいた産業活力創造戦略2017

- ・第一の柱：
「産業集積の進化と企業立地の戦略的推進」
- ・第二の柱：
「中小企業の新たな活力創造と競争力の強化」
- ・第三の柱：
「人材の育成・確保と多様な担い手の活躍推進」

③大分県版第4次産業革命〚OITA4.0、への挑戦

- ・IoT推進ラボについて
- ・おおいたIoTプロジェクト推進事業について
- ・ドローン産業振興事業について
- ・IT人材確保支援事業について
- ・IPAとの連携協定について
- ・サテライトオフィス整備推進事業について

④支援施策情報

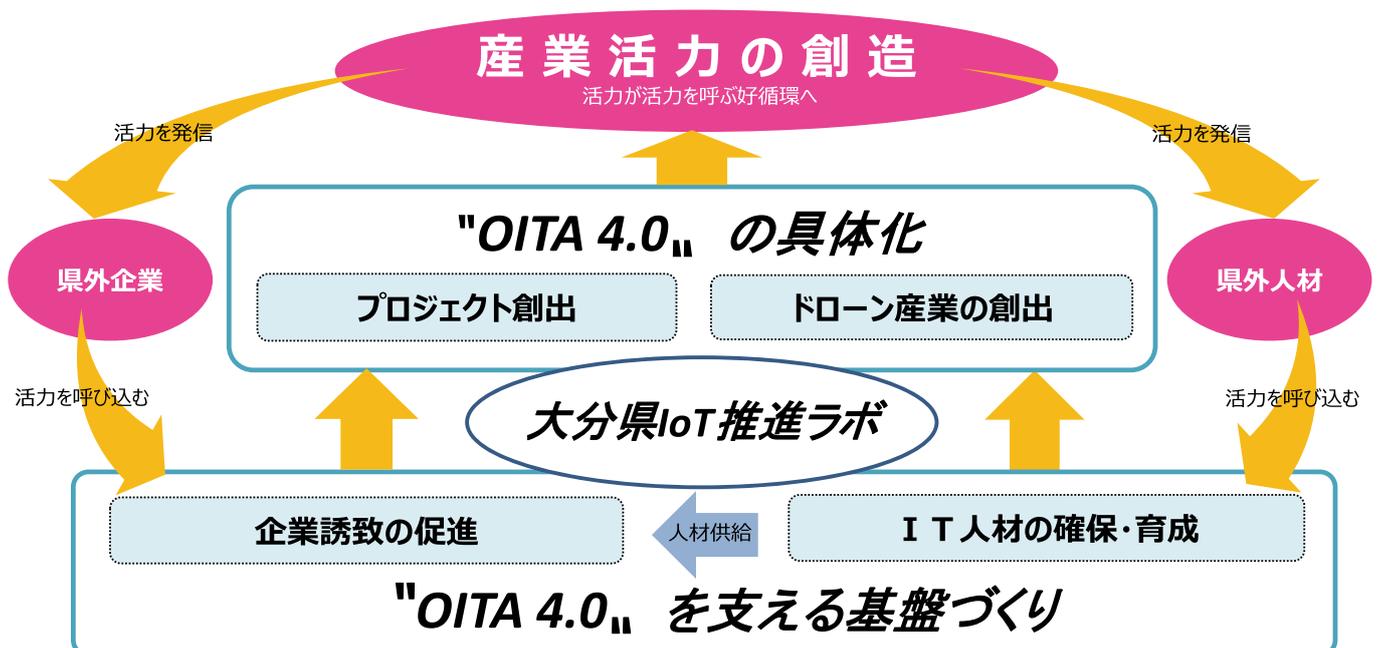
- ・施策情報発信の強化

※詳しくは、総会時に配布された資料をご覧ください。

※②③については大分県商工労働部(ホームページ)「おおいた産業活力創造戦略2017について」をご確認ください。

大分県版第4次産業革命〚OITA 4.0、への挑戦

- ・世界では、ドイツのインダストリー 4.0 から、米国における GE のインダストリアルインターネット、ウーバーやエアビーアンドビーなどのシェアリングエコノミーまで、IT 技術を活用したビジネスモデルが次々と勃興しており、第4次産業革命ともいわれる状況にある。
- ・日本においても昨年6月に公表された「日本再興戦略2016」において第4次産業革命により新たな有望成長市場を創出し、生産性革命を目指す方針が打ち出されたところ。
- ・大分においても、これまで築いてきた産業基盤をベースに、IoT や AI、ドローンなどの革新的技術を取り込んだプロジェクトの創出や製品・サービス開発を進めるとともに、それを支える IT 人材を企業に供給する基盤づくりを行うことにより、産業の新たな活力を創出することを目指す。



平成28年度

大分県情報サービス産業協会 新年例会開催

平成28年度の新年例会が、1月18日(水)に大分市のトキハ会館にて、ご来賓並びに会員企業多数がご出席の中、盛大に開催されました。最初に、森会長より新年のご挨拶があり、ご来賓の方々と関係機関及び団体への平素のお礼に続き、大分市副市長・久渡晃様、九州経済産業局情報政策課課長・秋吉英治様からのご挨拶を頂戴し、特別講演へと移りました。本年は、登山家の栗秋正寿様から「アラスカ垂直と水平の旅」という演題でご講演をいただきました。その後会場を移し、小田理事の乾杯のご発声と共に新年祝賀会が開催されました。なごやかな歓談を経て、最後に小野理事によるご挨拶をもって、盛会のうちに終了しました。

来賓ご挨拶

大分市副市長・久渡晃様には、新年のご挨拶ならびに佐藤樹一郎市長からのメッセージをご披露いただきました。

『昨年4月に熊本地震が発生し、南海トラフ地震の発生が想定される中、大分市でも災害に強いまちづくりを一層進めていきます。例えば、災害発生時には緊急地震速報や防災メール、被災後には統合型地理情報システム（GIS）を利用した迅速な情報共有・復旧など、ICTを有効に活用したいと考えています。7月からマイナンバー制度の情報連携が全国が始まりますが、県や各自治体とともに情報システムおよびセキュリティ対策の強化に取り組んでいます。また、2018年は国民文化祭、2019年はラグビーワールドカップといったビッグイベントが開催されますので、AR（拡張現実）を使った情報発信をおこなうなど、先端技術を取り入れて大分市の資源の魅力発信に努めてまいります。』



大分市副市長
久渡 晃 様

現在、IoT・ビックデータ・AI・ロボット等、いわゆる第4次産業革命がこれまでにないスピードとインパクトで進行しています。これにより、社会生活・産業は急速に変化し、IT・データを活用した新たなサービスが次々に生まれています。これらを大企業から中小企業へ、そして中央から地方へと届けることが課題になっています。このため、経済産業省では平成27年に先進的モデル事業を推進する「IoT推進ラボ」を立ち上げ、資金支援や規制緩和といった取り組みを実施しています。また、九州経済産業局では平成28年に「IoT第4次産業革命研究会」を立ち上げ、地域が産業革命に対応していくための環境整備やシステムインテグレーターによるネットワーク構築の調査・検討等をおこなっています。これは、会員のみならず大きなビジネスチャンスになると確信しています。



九州経済産業局情報政策課課長
秋吉 英治 様

特別講演会

演題：「アラスカ 垂直と水平の旅」 講師：栗秋 正寿様（登山家）

栗秋正寿様は、1972年福岡県生まれ、大分県日田市で小学校6年から中学3年まで過ごされ、15歳の時、北アルプスを舞台にした映画に感動し修猷館高校山岳部で登山を始められました。1998年、冬のマッキンリーに挑戦し冬季単独では世界で4人目、史上最年少の快挙を達成、2011年には「植村直己冒険賞」を受賞されています。今回の講演では、「アラスカの垂直」として、高みをめざす登山であるアラスカ山脈三山（デナリ：旧名マッキンリー、フォレイカー、ハンター）への、2勝14敗という16回の登山における、四国くらいの面積のところのみに独りぼっちで居る単独登頂についてのお話と、「水平の旅」として、1998年冬のマッキンリーから下山後、アラスカの大地を南から北に水平方向に、太平洋側から北極海まで1,600km歩いたお話をさせていただきました。講演の最後には、アラスカのスライド映像が映し出される中、登山の雪洞の中で作曲された自作の「デナリの夕焼け」という曲を、ハーモニカで演奏させていただきました。（総務委員会）



栗秋 正寿 様

第25回

サウンズコンテスト

日時：平成29年1月28日（土）13：30～17：00

会場：iichiko総合文化センター 映像小ホール

ON THE COMPUTER

今年で25回目を迎えたサウンズコンテストOn The Computerは、1月28日（土）に大分市のiichiko総合文化センター映像小ホール（地下1F）で開催されました。

今回の応募者は去年より20名以上多い99名107曲を数え、その中から予選を通過したフリー曲部門22曲、トリニータ応援歌部門7曲の合計29曲で本審査を行いました。

UstreamによるLIVE中継を今回も行い、審査会場の生の映像を配信したところ、全国の方々からご視聴いただき本コンテストへの興味を引くことができました。

見事にグランプリに輝いたのは、広島県の宮国誠さんの作品“Beyond the sea”でした。

宮国さんは「テーマパークショーを想定したミュージカル仕立てのフルオーケストラ楽曲であり、魔法の国へタイムスリップした2人の男子の夢と冒険の旅をイメージした」とのことで、コンセプト通りワクワクする素晴らしい楽曲でした。

審査結果

	氏名	年齢	地区	タイトル
グランプリ	宮国 誠	35	広島県	Beyond the sea
フリー曲部門一般の部 1位	星 芝 温 子	30	大分市	BIRTH
フリー曲部門一般の部 2位	前 迎 有紀子	22	神奈川県	翡翠色の展望
フリー曲部門一般の部 3位	野 沢 知 子	46	東京都	クワガタ虫のJAZZ
フリー曲部門学生の部 1位	江 幡 侑 奈	22	大分市	雪怪
フリー曲部門学生の部 2位	富 安 優 杜	22	神奈川県	一対のテクスチュア
フリー曲部門学生の部 3位	大 石 佳 正		神奈川県	タイムマシン・パラドックス
トリニータ応援歌部門 最優秀賞	村 木 海季男	30	東京都	Our Hero! TRINITA!
審査員特別賞	吉 田 達 矢	28	滋賀県	おくりもの



森会長挨拶



グランプリ 宮国誠さんとの記念撮影



入賞者記念撮影

トリニータ応援歌

今回も、大分フットボールクラブの後援による「トリニータ応援歌部門」を実施しました。今シーズンはJ2への復帰を決め、今年の活躍を期待する気持ちのこもった楽曲が印象的でした。

その中で最優秀賞に輝いたのは、東京都の村木海季男さんの作品“Our Hero! TRINITA!”でした。

この曲は、3月12日（日）に開催された今シーズンのホームゲーム開幕戦前に大分フットボールクラブへ贈呈されました。向こう一年間、大分スポーツ公園総合競技場（大銀ドーム）で開催される大分トリニータのホームゲームのBGMとして使われることになっています。

観戦に行かれる方は、試合前に流される音楽も是非お聴き下さい。



（株）大分フットボールクラブ
榎徹代表取締役への目録贈呈

審査委員

	氏名	審査歴	備考
審査委員長	田 村 洋 彦	21回目	大分大学名誉教授（音楽科）・東アジア作曲家協会顧問
審査委員	久保田 栄 子	15回目	Oita Sound Creator協会 事務局長
審査委員	清 水 慶 彦	4回目	大分大学 教育学部 准教授
審査委員	眞名井 龍 一	2回目	大分県情報サービス産業協会 事務局長

最後に、応募曲の編集、LIVE映像の配信、会場設営等で大変ご苦勞をおかけした日本文理大学関係者様、また、今回も多くのご後援・協賛をいただきました各社様にも紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

（イベント委員会）

社会貢献活動参加

平成29年2月5日(日)に第66回別府大分毎日マラソン大会が招待選手23名を含めランナー3,361名が参加して開催されました。

あいにくの雨模様の中でのスタートとなりましたが、徐々に天気も良くなってきました。当協会からの給水ボランティア参加も今年で6年目となり、今年は22社198名の参加となり、中には毎年欠かさずボランティアに参加している方もおられるなど、規模・人数とも、今年も最大規模のボランティア参加団体となりました。給水場所は、今年は全17か所のうち4か所の担当となりました。その中ではスペシャルドリンクの受け渡し地点もあり、ボランティアとはいえ重要な役割を担っております。

今年は第17回日本視覚障がい男子マラソン選手権大会や世界選手権の代表選考を兼ねていました。給水作業を行いながら各選手の、気力、体力を振り絞って走る姿に声援をおくりランナーの背中を声であと押ししました。

とりわけ、スタートから11km(亀川中央浄化センター)付近では、選手がかたまりとなって押し寄せるため、給水用の紙コップを並べる速さと、無くなっていく速さがほぼ同じぐらいでした。時間としては30分ほどですが、例えようのない忙しさとなります。

総務委員会では、来年も引き続きマラソン給水ボランティアを募集する予定です。来年も多くの方々のご参加をいただき、この雰囲気味わっていただきたいと思います。
(総務委員会)



平成28年度

第2回 OISA 視察研修

日程：平成29年2月10日(金)
視察先：永利牛乳株式会社(福岡県太宰府市)
福岡県警察本部(福岡県福岡市)
参加：12社22名

視察内容

永利牛乳株式会社

昭和30年に創業した永利牛乳株式会社は、全国でも珍しい自らの牧場を持つ、生産から販売までを一貫して行っている「牛乳の専門会社」です。初めに永利牛乳株式会社専務より会社概要、牛乳、牛について説明を受けました。また、菌や保存の検査室、1時間で1万2千本ビン詰めができる工場のライン、1時間で1万3千個紙パック詰めする工場のラインなども見学しました。さらに、ビデオを鑑賞させていただき、最後にビンの牛乳を試飲しました。



研修室にて永利牛乳専務より説明を受けている風景



永利牛乳タンクローリー車前での集合写真

福岡県警察本部

福岡県警察本部では、様々な警察業務を知ってもらい警察活動への理解と協力をいただく為に警察本部の庁内見学を行っています。広報課職員の方の案内で、資料室を見学し、研修室にて警察広報のビデオを鑑賞しました。交通渋滞の状況などを把握する交通管制センターを見学し、1日に1,500件の110番通報(全国7位)に対応する通信指令室を見学しました。
(企画委員会)



研修室にて広報課の方より説明を受けている風景



福岡県警察本部庁内での集合写真